

ドブラジルのピカソ・マナブ間部 ドラマ制作発表記者会見

9月22日、ブラジル日本移民100周年記念のドキュメンタリードラマ「夢の足跡・画家マナブ間部〜ブラジルと日本に架けた虹〜」(製作:テレビ熊本・企画:宇城市)の制作発表記者会見が不知火美術館でありました。

テレビ熊本(TKU)では、平成5年から熊本県出身の偉人を発掘、広く世間に知らせて後世に伝えようと、毎年ドキュメンタリードラマの形式で特別番組を制作しており、九州のフジテレビ系列各局で放送しています。

シリーズ16作目となる今回は、不知火町出身で「ブラジルのピカソ」と称されたマナブ間部画伯を取り上げ、移民後の苦勞、画家を志す苦悩、そして大成し、日本とブラジルの友好の架け橋となった生涯を描きます。

このドラマは、11月2日(日)、午後4時5分から5時20分に放送されます。ブラジルや市内の各地でロケを行っています。ぜひご覧ください。



マナブ間部役の斉藤暁さんと妻役の賀来千香子さんが出席

第3回宇城市童話発表大会

9月6日、小川総合文化センター・ラポートで「第3回宇城市童話発表大会」が行われました。これは、子どもたちが絵本や物語の世界の楽しさを味わい、童話に親しみながら発表する機会を提供することにより、読書意欲や読書力の向上を図る目的で開催されているものです。市内の各小学校から19人の児童が参加。

読書は頭を鍛えるのみではなく、たくさんの登場人物を自分の中に住ませることで、多様な対応ができるようになると言われていました。

子どもたちは、一人5〜7分の発表をかわいらしく身振り手振りを交えながら、表現豊かに発表しました。会場に訪れた家族や友人からは、温かい大きな拍手が送られていました。



感情を込めて物語をしっかり伝えてくれました

災害発生時の必要物資緊急確保のため 物資の供給に関する協定を締結



支援協定の締結は、今回で15社・団体となります

宇城市とNPO法人コメリ災害対策センターは9月12日、災害時等における物資の供給に関する協定を締結しました。

市役所で阿曾田清市長と馬場一則(株)コメリ九州地区本部長が協定書に調印。協定は、地震や風水害で災害が発生、あるいはその可能性があるとき、宇城市が必要な資機材や物資を同NPOに要請すると、作業シートなど作業物資や日用品、飲料水、暖房機器、電気用品などが優先的に提供されます。

NPO法人コメリ災害対策センターは、(株)コメリの社会貢献事業の一環で、創業の地である新潟県での被災の経験から、災害発生時の必要物資の緊急確保、被災地の自治体との連携など災害対策の支援を行う目的で設立されました。



多くのお客さんが来店しました

営業時間: 午前9時〜午後4時
休業日: 日曜日、祝日

楽しく作って楽しくたべよう! おとこの料理教室

8月28日、宇城市保健福祉センターで「おとこの料理教室」が行われました。これは、宇城市ヘルスマイト松橋支部(加々山弘子支部長、会員53人)主催による講習会で、男性19人がヘルスマイト10人のアドバイスを受けながら調理実習に取り組みました。

「家では、家族の目があるのでなかなか…」、「昔は、男子厨房(ちゅうぼう…台所)に入らずだったですが、今は逆ですね」など、「料理」をテーマに楽しい会話が弾む調理タイムは1時間ほどで終了。その後、全員で会食タイムとなりました。

この「おとこの料理教室」第2回目は、11月26日(水)午前9時30分〜午後1時に宇城市保健福祉センターで行われます。参加希望者は電話でお申し込みください。
※準備…参加費(100円)、エプロン、三角巾、米1合
申・問 宇城市保健福祉センター ☎32-7100



参加者はベテランから初心者までさまざま

手軽に行ける徒歩圏マーケット 農産物直売所「がんごろう」オープン!

9月1日、松橋町大野の中央商店街に、農産物直売所「がんごろう」が開店しました。これは市が進める地域再生事業の一環で、「高齢者や地域の人たちが手軽に行ける徒歩圏マーケットを」と地域再生マネージャーの斉藤俊幸さんの呼び掛けから、河野ぶどう園、日置精肉店、緒方パン、清香園の市内4企業の共同で起業されたものです。

「がんごろう」という店名は「1度聞けばおぼえてもらえるような印象的な名前」と大野神社にまつわる古い言い伝え「石がんごろう」からとられています。

この日は「がんごろう」の除幕式が行われ、河野孝宗代表をはじめ阿曾田清市長や斉藤俊幸マネージャーがあいさつ、直売所周辺は大勢のお客さんや見物人で賑わいました。また来客者の先着60人には開店記念サービスでペンタスの花が贈られました。

主な販売品はブドウ、ナシ、卵、キュウリ、ラッキョウ、ジャガイモといった野菜や果物で、今後は冷蔵設備を設置し漬物や乳製品も販売していく予定です。

冷たくておいしい! おどろきの流しソーメン



真夏の暑い日は、ソーメン流しが最高!

8月31日、宇城市生涯学習プラザ主催のふれあいプログラム、「おどろきの流しソーメン」が不知火支所駐車場でありました。

参加者らは、流し台、会場設営、麺、野菜、やくみなどの準備をそれぞれに分担。家族みんなが活躍できる「みんなが主役」の「つくって⇒食べて⇒味わって⇒楽しい食育」を楽しみました。

半分に割った竹から水と一緒にソーメンを流すと、子どもたちは大喜びで、楽しそうにソーメンを箸ですくって食べていました。参加者らは「本格的なソーメン流しは初めて。本当においしかった!」と話していました。

宇城市生涯学習プラザでは、毎月だれでも楽しく参加できるふれあいプログラムを実施しています。